

すぎのこ

148

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

2017 10/1

事務局：〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264
新館研修センター：〒357-0063 埼玉県飯塚市飯塚325-2 TEL.042-971-4121 FAX.042-971-4155
滝沢研修センター：〒377-1611 群馬県吾妻郡滝沢村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1015

2面・3面 いいだ人形劇フェスタ/園からの声/制作だより/講習会報告/夏のゲネプロ報告
4面 もぐもぐ劇場/新人紹介/活動記録 ほか

http://www.suginoko.org/
E-mail: support@suginoko.org



巡回公演だより

そっくりのくりのき班

榎本均

暑い夏がすぎ、今は、みりの秋です。
「そっくりのくりのき」の劇中のナレーションです。

季節の流れは、成長の過程の中です。主役の子ぎつね「コンちゃん」も園の子ども達も、ひと夏を過ごし成長しました。
さてその夏の前、春に、私は劇団外部でフリーのMさんと一緒に公演を続けていました。彼女は劇場公演が主なようで、

この人形劇、巡回公演で何が驚いたかというところ、公演中はもちろん、公演前と後に「子ども達が私に寄って来て抱きつく」ということだったようです。
以前、それこそ、私が入団した頃、二人の前理事長からは、「こちらから、人形で子ども達に軽はずみにむやみに近寄らないように」「人形劇俳優が子どもに近寄られて手をにぎられたら、その子が3日間、手を洗わないような憧れる存在になるように」と言われたことを思い起こしま

す。人形劇俳優としての舞台への心構えを言ったものです。
今でもそれを肝に銘ずつつも、それにしてもアインシュタインの「相対性理論」か、子どもと人形は互いに引き寄せ合うように?…上演が終わり、園庭の車に舞台道具を入れる時も子ども達は近寄ってきます。園庭を出て車で去る時も園庭の柵から身を乗り出して見送ってくれます。

「バイバイ」とか「またね」とか、そんなひとことで私たちは何かを支えているような、いや、支えられているような気がします。そんな時、車中にほんのりさやかな幸せの香りがただよいます。

ももたろう班

後藤 佳世

私が新人の頃にお世話になった先輩と同じ芸歴になり、今度私は私が新人の訓練を任せられ、育てる側になりました。これからスタートに立つ喜びでいっぱい、新人の目はキラキラしていて、正直うまく教えられるか不安でした。
3人の新人達には私はいこう言いました。

「劇団員はライブルでもあれば助け人でもある。物語の主人公だから偉い先輩が演じて偉いのではない、皆が物語の主人公なのだ。誰一人欠けても人形劇はできない。皆の力でアイディアを出し合って劇を作っていく



のだ。それをまとめるのが演出家である」
桃太郎の劇はチームワークだと私は思っています。そしてストーリーもチームワークです。簡単そうで難しい劇なので苦労してきましたが、ここまで頑張ってきました。

9月4日九州の長崎県から、巡回公演がスタートしました。これからどんな出会いがあるか楽しみです。

おだんごばん班

野見山 大輔

中国地方巡回中の「おだんごばん」が、広島の高島・大崎上島にやって来ました。

前日の夕方と当日の朝には、こども園で人形劇公演があると、島中に放送が流れました。俳優陣もテンションが上がります。

上演には園児の他に50人近い島の大人の方が見に来て、子どもに負けないうぐらいのリアクシ



ョンで楽しんでくれました。島の子どもは純粹と言いますが、大人も純粹です。

巡回の素朴な出会いの醍醐味を噛みしめながら、子どもが子どもらしく在るための大人の在り方を考えさせられた日でした。

三まいのおふだ班

吉田 薫

「三まいのおふだ」を演じていると、子ども達が「こわいー」と言っていて目をふさぎながら、なんだかんだ指の間からチラッと見ている…という様子をよく目にします。

怖いんだけど、気になっちゃう。ドキドキするけど、やっぱり見たい！ そんな声が聞こえてきそうな姿に、子ども達の純粹な感性と、温かい日本の昔話を愛おしく思います。

大好きな和尚さんと栗を食べたい小坊主さん。優しくてやんちゃな小坊主さんは、怖い思いをしたけれど、改めて和尚さんの偉大さに気づきます。

制作ぶよ

今年も残すところあと3か月になりました。秋は運動会や発表会などの行事も多く、忙しく過ごされる先生方も多いのではないのでしょうか。栗ご飯に松茸ご飯、秋刀魚に柿など胃袋は高揚していますが、同時に時の流れの寂しさを感じる季節でもあ

発声講習会

去る7月14日(金)、東京都世田谷区弦巻にある教育センター3階・おおくまに於いて「発声講習会」が開催されました。今年の1月に開催したときは、世田谷区内で読み聞かせをしている方たちが対象でしたが、今回は、世田谷区の図書館などに勤務している職員の方が対象です。当日は、猛暑の中、区内から30名あまりの参加がありました。

内容は、初めにラジオ体操で体をほぐし、腹式呼吸の方法を説明した後、呼吸法・発声練習・発音の仕方など、すぎのこのテキストを基に、実践を中心に行いました。

参加した皆さんは、今年入った新人の方からベテランの方まで様々でしたが、初めは、遠慮していた方も、次第に大きな声が出るようになり、楽



(下村 明)

しい雰囲気の中、無事に終了することができました。参加した方々が、今後の実務をする中で、少しでもお役に立っていただければ幸いです。

今後もしぎのこは、「発声講習会」「人形劇講習会」「影絵紙芝居講習会」を実施してまいります。どうぞ、お気軽にお問い合わせください。

ります。

6月、すぎのこに新しい仲間が3名加わりました。新しい環境に身を置くのは大変なことですが、各々が課題と四苦八苦しながら闘っています。先輩達についていこうとする必死な姿は、はたから見るととても生き生きとして眩しいものです。急成長中の新人3名が皆さまの園におうかがいすることもあるかと思いますが、精一杯演じて参りますので、よろしくお願いたします。

さて、今こうしている間にもさらさらと時間は流れていきます。今年入団4年目となった私も、彼らの勢いに負けないように精進して参ります。秋の夜長の折に、いったんこの一年を顧みて、今年の残りの日々を有意義に過ごせるよう努めたいと思います。でもその前にまずは腹ごしらえを…!

(福島 亜紀)



公開人形劇観劇会 (ゲネプロ) 8月27日

夏も終わりに近づいていた日の開催でしたが、未だ夏真っ盛りと言わんばかりの暑い日となりました。そんな中、多くの方にご来場いただき、今回もなかなかの盛況となりました。

今回はなんと3人の新人が加わり、非常に初々しくかつ、一生懸命さの見える各作品のお披露目になったと思います。

春に芽吹いた作品と俳優の新たな芽が青々と茂り出した頃に、また新たな新芽が出る。作品も俳優も一つまた一つと成長しているのを肌で感じられる出来ではないかと思えました。新人達も1か月足らずにも関わらず、日々の努力のおかげか、なかなかいい演技ができるようになって

賛助会員を募集しています!



すくすくゴールド

- 賛助会は、すぎのこの理念・目的に賛同する個人や団体の方々に、当財団の活動を側面から支援していただくものです。入会された方には、会員証と共に入会の証としてアンパンマンでおなじみのやなせたかし先生がデザインした、すぎのこ「すくすく」バッジ(写真)をお贈りいたします。
1. 賛助会に関する基本事項については、定款第45条によるものとする。
 2. 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
 - (1) 賛助会費を納める「会費制賛助会員」

個人	年額	3,000円 以上
団体	年額	10,000円 以上
 - (2) 知識、技能、労力を提供する「技能制賛助会員」

個人	年間	3日間以上
団体	年間	5日間以上
 3. 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要事項記入のうえ、会費(技能提供予定書)を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならぬ。
 4. 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
 5. 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届け出る。
 6. 会費制賛助会員が二年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が二年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
 7. 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の中から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
 8. 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
 9. 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に関して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
 10. 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名する事が出来る。
 11. 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
 12. 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
 13. この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。

ておりました。

現在、新たなメンバーで各作品が全国を巡回しています。日本全国の幼稚園・保育園と巡回していく中で、またさらに成長していくことでしよう。そんな俳優たちをどうぞ温かく迎えてあげてください。私たちも俳優たちの成長した姿を見られることを願い、無事に帰ってくるのを待っていようと思います。

(太田 金)



愛媛県伊予市 児童クラブからの手紙

〈支援員の方からのご感想〉

久しぶりに生の人形劇を観る機会を得て、童心に返って楽しむことができました。舞台・音楽・人形の動かし方・場面の転換の仕方など無駄のない動きで、たった二人で進めていく様は圧巻でした。

息のあった演技に、どれだけの練習を重ねてこられたのかと、子ども達にプロの仕事の厳しさやすばらしさを感じ取ってもらうことができたか、と思いました。

〈小学生のお友達からのお手紙〉

- おじいさんがおもちゃをやっていました。おもちゃおいしそうでした。おもちゃたべたかったです。あまそうなおもちでした。(1年生)
- ぼくも、三まいのおふだをもらいたいです。もらったら、おかあさんがおこったときにつかいたいです。(1年生)
- 紙芝居では動かないけど、人形げきだと動くので楽しかった。(5年生)
- 山んばは、クモのたきこみごはん、へびのみそしる、カエルのからあげを食べるのでぼくは、すごきもちわかった。(5年生)
- こぞうが「おしょうさんとびらをあけて」と言ったとき「もちをやく」とおしょうさんが言ったから、おしょうさんはさいしょからこぞうをかくして、やまんばをまめにして食べるきだったのかなとおもいました。(3年生)
- 三まいのおふだが、なんで人をたすけるのか、なぜでした。(2年生)
- (おおきなかぶの)人形の角度が約30度にうしろにたおれていたの、どうやったか不思議に思いました。(5年生)
- ぼくの知っている三まいのおふだとはちがっていたので、より楽しむことができました。(4年生)
- べんじょのかみさまは、小ぞうのまねがうまかったのでおもしろかったです。(4年生)

むむむ劇場

おおかみが、「こぶたは、どこにいるか知ってるな〜」と問いかけると、「わらの家にいるよ!」「知らないよ〜」:「教えちゃだめだよ!」:「元気な子ども達の声が返ってきます。」

これは、もぐもぐ劇場の作品・飛び出す絵画「三匹のこぶた」です。今まで、いろいろな所で上演していますが、子ども達の反応は、その都度違います。そして、この違いにどう

対応して、話を進めていくか...このことがナマの舞台をするうえで、大切なことだと思います。また、醍醐味でもあります。

どの作品を演じていても、子ども達の反応は、とてもエネルギーギッシュで、その発想には毎回驚かされます。

すぎのこは、劇団創立以来、「どの子にもナマの舞台の感動を」をテーマに活動してきました。完成品の人形劇ではなく、子ども達との触れ合いのなかで創り上げていく、ナマの人



形劇をこれからもお届けしたいと思えます。(下村 あきら)

新人紹介



榎田ありさ

直感的に感じた、人形劇の世界への魅力。演技も旅の生活もなにもかも初めてのことがばりですが、何事にも挑戦し、精一杯努力して参りますので、どうぞよろしくお願いたします。



後藤 絢子

6月下旬に入団しました。初舞台は「かもとりごんべえ」の語り手として出演します! 最後まで楽しんで見ていただけるように頑張ります。よろしくお願いたします。



齋藤 裕太

6月からすぎのこに入団しました。今の心境を率直に申し上げますと、私は演技経験や俳優経験は全くありませんので、果たしてこの劇団でうまくやっていけるのだろうかという不安があります。ですがそれ以上に、期待と好奇心、そして「ワクワク」するといついで夢と希望に満ち溢れている☆☆☆そんな心境であります。

この先何が起るかわかりませんが、元気で勇気を出してホンの少しでもよいので、日本のみならず世界中の子ども達をホシ☆いっぱいの笑顔にする事を目標に、全力を出していきたいです。

研修センターのご案内

当財団には、群馬県に日本小型自動車振興会(現財団法人JKA)の補助により建設された「すぎのこ山荘」と、日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ婦恋研修センター」、埼玉県に日本宝くじ協会の助成により建設された「すぎのこ飯能研修センター(ドリーム館)」があります。

いずれの施設も緑ゆたかな自然に恵まれ、大変静かな環境に立地し、音楽や演劇等の芸術文化活動や公益活動にお貸ししています。合宿や研修等で会場をお探しの方は、ぜひご検討ください。(利用目的は原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の

活動には使用できません)

婦恋村にある「すぎのこ婦恋研修センター」近くには、海拔1240m、周囲2kmに及ぶバラキ湖をはじめ、近隣に日帰り温泉施設「湖畔の湯」やバラキ高原婦恋スキー場等が点在し、年間を通じてレジャーや野外活動の拠点としてご利用いただける他、敷地内にはテントサイト(シャワー室・トイレ完備の専用洗面棟併設)や雨天でもバーベキューが楽しめる集会棟、アスレチック広場等が整備され、日本キャンパ協会の優良キャンプ場として認定されています。埼玉県飯能市にある「すぎのこ飯能研修センター」は、都心から電車で約一時間程度の場所にありながら閑静で落ち着いた環境に恵まれ、135㎡の多目的フロアの他、和洋研修室を完備しており、



婦恋研修センター

研修会や芸術文化活動に広くご利用いただける施設です。また、周辺には飯能の観光スポットとして有名な「天覧山」や「飯能河原」等も徒歩圏内にありますので、利用がてら、ぜひ散策してみてください。皆様のご利用を心よりお待ちしております。

婦恋研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/support@suginok.org

または03-33984-2396

(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginok.org

または042-971-4121

(創造部)

活動記録(平成29年7月~9月)

- 7/14 発声講習会 於・世田谷区教育センター(東京都)
- 8/5 いいだ人形劇フェスタ参加 於・長野県飯田市切石会館
- 8/23 第一期全国巡回公演終了 創造部公開クエネプロ 於・飯能研修センター
- 8/30 第二期全国巡回公演開始